

令和元年9月2日

サイバーセキュリティ関連情報（9月号）

鳥取県警察本部サイバー犯罪対策課

○ IPA「情報セキュリティ白書2019」発行

独立行政法人情報処理推進機構（IPA）は、企業・組織のシステム管理をはじめとするセキュリティ業務に関わる方、関心のある方を対象に、情報セキュリティインシデントや攻撃の手口に関する現状及び対策に役立つ情報を提供すること、また、パソコンやスマートフォンを使用する一般の方に対しても、身近にある情報セキュリティ上の脅威への認識を促すことを目的とした書籍「情報セキュリティ白書」を2008年から毎年発行している。

最新版となる「情報セキュリティ白書2019」では、情報セキュリティインシデントの具体的事例や攻撃の手口、政策や法整備の状況等を網羅的に取り上げ、2018年度に注目されたテーマとして、制御システム、IoT、スマートフォン、ITサプライチェーン、AIに関するセキュリティが掲載されている。

IPAのホームページから会員登録及びアンケート回答により、同書籍PDF版の無料入手が可能となっている。

参考 IPA <https://www.ipa.go.jp/security/publications/hakusyo/2019.html>



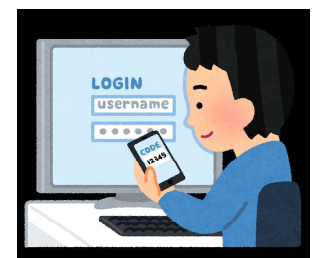
○ パスワードスプレー攻撃に注意

パスワードスプレー攻撃とは、一般的に用いられることが多い安易なパスワードを使用しつつも、特定のIDに対する連続攻撃を避け、アカウントのロックを避けつつ、ログインを試行する攻撃手法。「low-and-slow攻撃」や「リバースブルートフォース攻撃」などと呼ばれることもある。同じIDに対してログインの試行を連続して行わず、大量に用意したリストに対して単一のパスワードを試行していくことで特定のIDに対する攻撃間隔を広げてシステムにおける異常検知などを回避。同一組織内で大量のエラーが集中しないよう、組織横断的なリストが用いられるケースもある。

オーストラリアサイバーセキュリティセンターによると、オーストラリア国内の組織に対する大規模なパスワードスプレー攻撃が展開されているとして注意を呼びかけており、同国外に対する攻撃状況については言及していないものの、国をまたがって攻撃が展開されている可能性もあり注意が必要。

JPCERTコーディネーションセンターでは、パスワードスプレー攻撃への効果的なセキュリティ対策として、

- ・多要素認証が有効な場合は使用する
 - ・可能な限り長い文字列を使用し、簡単なパスワードを使用しない
 - ・パスワードを他人に教えたり、目に付く場所に残さない
 - ・アカウントロックの仕組みを導入し、適切に設定を行う
- などを挙げ、IDとパスワードの適切な管理を心掛けるよう呼びかけている。



引用 Security NEXT <http://www.security-next.com/107262>

JPCERTコーディネーションセンター <https://www.jpccert.or.jp/newsflash/2018040401.html>